

山梨県調査内容 (H17)			内閣府調査	備考
	調査項目	質問文		
F1	性別	あなたの性別はどちらですか。 1 男性 2 女性	F1に対応	
F2	年齢	あなたの (H17.6.1現在の満年齢をお答えください) 1 20歳～29歳 2 30歳～39歳 3 40歳～49歳 4 50歳～59歳 5 60歳～69歳 6 70歳以上 (6月1日現在)	F2に対応	
F3	居住地域	あなたが現在お住まいの地域はどこですか。 1 甲府 2 峡中 (甲斐市、南アルプス市、中巨摩郡) 3 峡東 (山梨市、塩山市、笛吹市、東山梨郡、東八代郡) 4 峡南 (西八代郡、南巨摩郡) 5 峡北 (韮崎市、北杜市、北巨摩郡) 6 富士北麓・東部 (富士吉田市、都留市、南都留郡、大月市、上野原市、北都留郡)	X	
F4	職業	あなたの職業は何ですか。1～8の中から、主なものを1つだけお選びください。 1 法人・団体役員 2 自営業主 (農林漁業、商工サービス業、自由業など) 3 自営業家族従事者 (〃) 4 雇用者 (常勤) [管理職、専門技術者、事務職、労務職など。出産休暇、育児休業中の人も含みます] 5 雇用者 (パートタイム、アルバイト、嘱託など) 6 内職 7 主婦・主夫 8 無職	F3・F4	
F5	配偶者の有無	あなたは結婚していますか。 1 既婚 (現在配偶者がいる) 2 既婚 (離別・死別) 3 未婚	F5に対応	
F6	配偶者の職業	現在配偶者がいる方のみ対象 あなたの配偶者の職業は何ですか。次の中から主なものを1つお選びください。 1 法人・団体役員 2 自営業主 (農林漁業、商工サービス業、自由業など) 3 自営業家族従事者 (〃) 4 雇用者 (常勤) (管理職、専門技術者、事務職、労務職など。出産休暇、育児休業中の人も含みます) 5 雇用者 (パートタイム、アルバイト、嘱託など) 6 内職 7 主婦・主夫 8 無職	X	

フェイスシート

山梨県調査内容 (H22)			
	調査項目	質問文	
F1	性別	あなたの性別はどちらですか 男性 女性	
F2	年齢	あなたの (H22.9.1現在の満年齢をお答えください) 1 20歳～29歳 2 30歳～39歳 3 40歳～49歳 4 50歳～59歳 5 60歳～69歳 6 70歳以上 (9月1日現在)	
F3	居住地域	あなたのお住まいの地域はどこですか。 1 甲府 2 峡中 (甲斐市、南アルプス市、中央市、昭和町) 3 峡東 (山梨市、甲州市、笛吹市) 4 峡南 (市川三郷町、南巨摩郡) 5 峡北 (韮崎市、北杜市) 6 富士北麓・東部 (富士吉田市、都留市、南都留郡、大月市、上野原市、北都留郡)	市町村合併を反映
F4	職業	あなたの職業は何ですか。1～5の中から、主なものを1つだけお選びください。 1 法人・団体役員 2 自営業主 (農林漁業、商工サービス、自由業、家庭内職者など) 3 家族従業者 4 雇用者《常勤 (フルタイム)》 (管理職、専門技術職、事務職、労務職など。 出産休暇、育児休業中の人も含みます。) 5 雇用者《パートタイム (パート、アルバイト、嘱託その他)》 6 無 職 (主婦・主夫、学生を含む)	内閣府の質問項目に合わせる 島根・福岡・福島・茨城・愛知
F5	配偶者の有無	あなたは結婚していますか。 1 結婚している (事実婚を含む) 2 離別 3 死別 4 未婚	内閣府の質問項目に合わせる
F6	配偶者の職業	現在配偶者がいる方のみ対象 あなたの配偶者の職業は何ですか。次の中から主なものを1つお選びください。 1 法人・団体役員 2 自営業主 (農林漁業、商工サービス、自由業、家庭内職者など) 3 家族従業者 4 雇用者《常勤 (フルタイム)》 (管理職、専門技術職、事務職、労務職など。 出産休暇、育児休業中の人も含みます。) 5 雇用者《パートタイム (パート、アルバイト、嘱託その他)》 6 無 職 (主婦・主夫、学生を含む)	F4と同様
F7	子どもの有無	(1) あなたはお子さんがいますか 1 子どもがいる 2 子どもはいない (F7(1)で子どもがいると答えた方にお伺いします。) お子さんは何歳ですか。次の中から該当するものに○をつけ、人数をご記入ください。 1 3歳未満 (人) 2 3歳以上就学前 (人) 3 小学生 (人) 4 中学生以上 (成人を含む) (人)	新規項目 新規項目

山梨県調査内容 (H17)		内閣府調査	備考
問1	各分野における男女の地位の平等意識 (全員におききます) あなたは、次の分野の男女の地位は平等になっていると思いますか。A～Eそれぞれについて、1～6のうち1つに○をつけてください。 A 家庭生活において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない B 学校生活において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない C 職場内において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない D 地域において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない E 社会全体において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない	Q1 Q2	経年変化
問2	固定的役割分担に対する意識 (全員におききます) あなたは、「夫が外で働き、妻が家庭を守るべき」という考えに賛成ですか、反対ですか。(1つを選択) 1 賛成である 2 どちらかといえば賛成である 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば反対である 5 反対である	Q6 (2)	指標 経年変化・現計画の

男女平等・男女の地位について

山梨県調査内容 (H22)			
問1	各分野における男女の地位の平等意識 (全員におききます) あなたは、次の分野の男女の地位は平等になっていると思いますか。A～Eそれぞれについて、1～6のうち1つに○をつけてください。 A 家庭生活において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない B 学校生活において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない C 職場内において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない D 地域において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない E 社会全体において 1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 3 平等 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 6 分からない ↳ *E 社会全体において 3 平等 6 分からないと答えた方は問3へお進みください。		変更なし
問2	男女が平等でないと感じた時期 (問1で E 社会全体において、1 男性優遇 2 どちらかといえば男性優遇 4 どちらかといえば女性優遇 5 女性優遇 と答えた方にお聞きします) あなたのライフステージで、男女の地位が平等になっていないと感じた時期はいつでしたか。 1 小学校・中学校 2 高等学校 3 大学・大学院 4 社会人になったとき 5 結婚したとき 6 その他(具体的に)		◇新規項目
問3	固定的役割分担に対する意識 (全員におききます) あなたは、「夫が外で働き、妻が家庭を守るべき」という考えに賛成ですか、反対ですか。(1つを選択) 1 賛成である 2 どちらかといえば賛成である 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば反対である 5 反対である		変更なし
問4	家庭における男女の役割分担(現実) (F5で「1 結婚している(事実婚を含む)」と答えた方にお聞きします) (1) 家庭における男女の役割分担について、あなたの現実にもっと近いものはどれですか。(1つだけ○印) 1 夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する。 2 妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する。 3 夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する。 4 夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する。 5 夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する。 6 夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う。 7 その他(具体的に)		◇新規項目◇経済の役割分担の理想と現実 《青森・高知》
	(理想) (F5で「1 結婚している(事実婚を含む)」と答えた方にお聞きします) (2) 家庭における男女の役割分担について、あなたの理想にもっと近いものはどれですか。(1つだけ○印) 1 夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する。 2 妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する。 3 夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する。 4 夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する。 5 夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する。 6 夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う。 7 その他(具体的に)		◇新規項目◇経済の役割分担の理想と現実 《青森・高知》

山梨県調査内容 (H17)		内閣府調査	備考
問3	家事負担の実態 (F5で「1 既婚(現在配偶者がいる)」と答えた方にお聞きします) あなたの家庭では、次のようなことを、主にどなたが担当しているでしょうか。A~Gそれぞれについて、1~6のうち1つお選びください。 1 自分 2 配偶者 3 自分と配偶者が同じ程度 4 夫婦以外の家族 5 該当なし 6 ホームヘルパーなどの外部のサービス A 掃除 B 洗濯 C 食事のしたく D 小さい子どもの世話 E 高齢者などの介護 F 授業参観など学校行事への参加 G 町内会など地域の活動	(H19内閣府調査では項目あり H21年度では削除されている)	経年変化
問4	女性が職業をもつことに対する意識 (全員におききします) 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(1つを選択) 1 結婚するまでは職業をもつ方がよい 2 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい 3 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい 4 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい 5 その他→() 6 わからない	Q 4	経年変化
問5	家庭生活又は地域活動に対する認識 WLB (全員におききします) 仕事との関係において、家庭生活または町内会やボランティアなどの地域活動をどのように位置づけるかということについてお聞きします。 (1) まず、女性については、どのような係わり方が望ましいと思いますか。(1つを選択) 1 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する 2 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる 3 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる 4 仕事にも携わるが、家族生活又は地域活動を優先させる 5 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する 6 わからない (2) それでは、男性については、どのような係わり方が望ましいと思いますか。(1つを選択) 1 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する 2 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる 3 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる 4 仕事にも携わるが、家族生活又は地域活動を優先させる 5 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する 6 わからない (3) 続いて、現在の状況では、あなたは次のどれに当たりますか。(1つを選択) 1 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している 2 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまでも仕事を優先させている 3 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させている 4 仕事にも携わるが、家族生活又は地域活動を優先させている 5 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している	Q 7 「仕事」「家庭生活」「地域生活」「個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度の理想と現実で聞いている	岩手・山口・愛媛・経年変化
		Q 7	

山梨県調査内容 (H22)			
問5	役割分担の現状 (F5で「1 結婚している(事実婚を含む)」と答えた方にお聞きします) あなたの家庭では、次のようなことを、主にどなたが担当しているでしょうか。A~Jそれぞれについて、1~7のうち1つお選びください。 1 自分 2 配偶者 3 自分と配偶者が同じ程度 4 夫婦以外の家族 5 ホームヘルパーなどの外部のサービス 6 家族全員 7 該当なし <家事等の分担> A 掃除 B 洗濯 C 食事のしたく D 育児 E 高齢者などの介護 F 授業参観など学校行事への参加 G 地域の行事(自治会等)などの活動 <最終決定> H 高額な商品(テレビ、家具等)の購入 I 財産の管理 J 子どもの教育・就職		◇選択肢の中に「家族全員」を加える。 《茨城・埼玉・栃木・愛知・山口・群馬》 ◇選択肢Dを変更。 小さい子どもの世話 → 育児 ◇経済の状況を浮き彫りにさせる → H・Iの選択肢追加する 《岩手・群馬・埼玉・茨城・栃木・愛知・香川》
問6	家事・育児時間の実態 (F5で「1 結婚している(事実婚を含む)」と答えた方にお聞きします) あなた、あなたの配偶者が、1日のうちで家事・育児に費やす平均時間を記入してください。 (1) 妻 平日 家事・育児時間 () 時間 () 分 休日 家事・育児時間 () 時間 () 分 (2) 夫 平日 家事・育児時間 () 時間 () 分 休日 家事・育児時間 () 時間 () 分		新規項目
問7	女性が職業をもつことに対する意識 (全員にお聞きします) 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(1つを選択) 1 女性が職業を持たない方がよい 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい 4 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい 5 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい 6 その他→() 7 わからない		◇内閣府と設問項目を合わせるため、追加
問8	家庭生活又は地域活動に対する認識 WLB (全員にお聞きします) 仕事との関係において、家庭生活または 地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・つきあい等)をどのように位置づけるかということについてお聞きします。 (1) まず、女性については、どのような係わり方が望ましいと思いますか。(1つを選択) 1 家庭生活又は地域・個人の生活よりも、仕事に専念する 2 家庭生活又は地域・個人の生活にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる 3 家庭生活又は地域・個人の生活と仕事を同じように両立させる 4 仕事にも携わるが、家族生活又は地域・個人の生活を優先させる 5 仕事よりも、家庭生活又は地域・個人の生活に専念する 6 わからない (2) それでは、男性については、どのような係わり方が望ましいと思いますか。(1つを選択) 1 家庭生活又は地域・個人の生活よりも、仕事に専念する 2 家庭生活又は地域・個人の生活にも携わるが、あくまでも仕事を優先させる 3 家庭生活又は地域・個人の生活と仕事を同じように両立させる 4 仕事にも携わるが、家族生活又は地域・個人の生活を優先させる 5 仕事よりも、家庭生活又は地域・個人の生活に専念する 6 わからない (3) 続いて、現在の状況では、あなたは次のどれに当たりますか。(1つを選択) 1 家庭生活又は地域・個人の生活よりも、仕事に専念している 2 家庭生活又は地域・個人の生活にも携わるが、あくまでも仕事を優先させている 3 家庭生活又は地域・個人の生活と仕事を同じように両立させている 4 仕事にも携わるが、家族生活又は地域・個人の生活を優先させている 5 仕事よりも、家庭生活又は地域・個人の生活に専念している		◇内閣府は回答者の現状と理想。本県は各性別の理想と自分の現状。 町内会やボランティアなどの地域活動を地域・個人の生活と修正 《岩手・群馬・埼玉・茨城・栃木・愛知・香川》

山梨県調査内容 (H17)			内閣府調査	備考
仕事と家庭・社会活動とそのバランス	問6	仕事以外の社会活動の実態 (全員にお聞きします) あなたは現在、家庭の外で(仕事以外に)何か活動をしていますか。(複数回答可) 1 グループや団体に属して、ボランティア活動やまちづくり活動、消費者運動などを行っている。 2 個人でボランティア活動やまちづくり活動、消費者運動などを行っている。 3 PTAの役員・委員 4 自治会、婦人会、子ども会などの地域活動 5 スポーツサークル活動 6 スポーツ以外の趣味活動、文化・教養・学習活動 7 活動していない(活動したいとは思わない) 8 活動していない(活動したい)		経年変化
	問7	不参加の理由 問6で「8活動していない(活動したい)」と答えた方にお聞きします 活動したいのに活動していない理由は何ですか。次の1～9の中から3つまでお選びください。 1 仕事が多忙なので 2 家事、育児、介護で忙しいので 3 健康や体力に自信がないので 4 どんな活動があるのか知らない 5 グループなどへの加入方法がわからない 6 家族の理解が得られない 7 高齢なので 8 車の運転ができない 9 経済的余裕がない		経年変化
	問8	就業の意思 F4で「7主婦・主夫」または「無職」と答え方にお伺いします あなたはこれから収入を得る仕事に就いて働きたいと思いませんか。 1～4の中から1つだけお選びください。 <u>1 すぐにも働きたい</u> 2 将来は働きたい 3 働くつもりはない 4 わからない <問8で1又は2を選択した方にお伺いします> (1) 働きたい理由はなんですか。次の中から3つまでお選びください。 ア 働くのが当たり前だから イ 社会貢献したい ウ 経済的理由 エ 働くのが好きだから オ 専門知識や経験を活かしたい カ 時間的に余裕があるから キ 社会から取り残されそうだから (2) 働きたいと思ったとき、気がかりなことは何ですか。次の中から3つまでお選びください。 ア 仕事とうまく探せるか イ 起業のノウハウや資金繰り ウ 自分の資格や能力が通用するか エ 年齢制限 オ 賃金や勤務時間など労働条件 カ 自分の健康状態や体力 キ 家族の理解 ク 家事との両立 ケ 保育所、学童保育の利用		経年変化 経年変化 経年変化
	問9	男性の参加WLB (全員にお聞きします) あなたは今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動等への参加をするために必要なことは何だと思いませんか。(3つまで選択) 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 2 男性が家事などに参加することに対する女性自身の抵抗感をなくすこと 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること 5 職場の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動について理解し、支援すること 6 労働時間の短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多くもてるようにすること 7 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること 8 研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること 9 男性が育児や介護、地域活動を行うための、仲間づくりを進めること 10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること 11 その他(具体的に) 12 特に必要なことはない		

山梨県調査内容 (H22)			
問9	男性の参加WLB (全員にお聞きします) あなたは今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動等への参加をするために必要なことは何だと思いませんか。(3つまで選択) 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 2 男性が家事などに参加することに対する女性自身の抵抗感をなくすこと 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること 5 職場の中で、男性による家事、育児、介護、地域活動について理解し、支援すること 6 労働時間の短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多くもてるようにすること 7 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること 8 研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること 9 男性が育児や介護、地域活動を行うための、仲間づくりを進めること 10 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること 11 その他(具体的に) 12 特に必要なことはない		◇WLBの新規項目 <岩手・茨城・富山・愛知・滋賀・奈良・鳥取・山口・香川・福岡・大分・熊本>
問10	仕事以外の活動実態 (全員にお聞きします) あなたは現在、家庭の外で(仕事以外に)何か活動をしていますか。(複数回答可) 1 グループや団体に属して、ボランティア活動やまちづくり活動、消費者運動などを行っている。 2 個人でボランティア活動やまちづくり活動、消費者運動などを行っている。 3 PTAの役員・委員 4 自治会、子ども会などの地域活動 5 スポーツサークル活動 6 スポーツ以外の趣味活動、文化・教養・学習活動 7 活動していない(活動したいとは思わない) 8 活動していない(活動したい)		
問11	不参加の理由 (問10で「8 活動していない(活動したい)」と答えた方にお聞きします 活動したいのに活動していない理由は何ですか。次のア～ケの中から3つまでお選びください。 1 仕事が多忙なので 2 家事、育児、介護で忙しいので 3 健康や体力に自信がないので 4 どんな活動があるのか知らない 5 グループなどへの加入方法がわからない 6 家族の理解が得られない 7 高齢なので 8 車の運転ができない 9 経済的余裕がない		
問12	就業の意志 (F4で 5 無職(主婦・主夫、学生を含む) と答え方にお伺いします) あなたはこれから収入を得る仕事に就いて働きたいと思いませんか。 1～4の中から1つだけお選びください。 <u>1 すぐにも働きたい</u> 2 将来は働きたい 3 働くつもりはない 4 わからない <問12で1又は2を選択した方にお伺いします> (1) 働きたい理由はなんですか。次の中から3つまでお選びください。 ア 社会貢献したい イ 経済的理由 ウ 働くのが好きだから エ 働くのが当たり前だから オ 専門知識や経験を活かしたい カ 時間的に余裕があるから キ 社会から取り残されそうだから ク 視野を広げたり、友人を得たい (2) 働きたいと思ったとき、気がかりなことは何ですか。次の中から3つまでお選びください。 ア 仕事とうまく探せるか イ 起業のノウハウや資金繰り ウ 自分の資格や能力が通用するか エ 年齢制限 オ 賃金や勤務時間など労働条件 カ 自分の健康状態や体力 キ 家族の理解・協力 ク 家事(育児・介護等)との両立 ケ 保育所、学童保育の利用		◇F4の設問に合わせる ◇選択肢を「視野を広げたり友人を得たい」を追加 <三重>

山梨県調査内容 (H17)			内閣府調査	備考
仕事と家庭・社会活動とそのバランス	問9	職場での男女共同参画意識 F4で「4雇用者(常勤)」または「雇用者(パートタイム、アルバイト、嘱託など)」と答え方にお聞きします あなたは現在の自分の職場において、次のA～Gについてどのように感じていますか。それぞれについて1～4のうち1つを選択してください。 1 男性が優遇されていると感じる 2 平等だと感じる 3 女性が優遇されていると感じる 4 わからない A 給与・賃金の体系(職種やコース) B 成績や能力の評価 C 昇給 D 管理職への登用 E 残業、出張、転勤の命令 F 研修の機会 G 有給休暇のとりやすさ		経年変化
	問10	行政や企業が女性の活躍を促進するための方策 (全員にお聞きします) 行政や企業はどんな方法で女性の活躍を促進するのが良いと思いますか。(複数回答可) 1 行政の審議会・委員会の委員などに女性を積極的に任命する 2 公共事業の発注に際し、女性を積極的に活用している企業を優遇する 3 女性を積極的に活用している企業を表彰する 4 女性の採用や管理職への登用などに目標を設け、女性の進出を促す計画をつくる 5 女性の起業家に対して融資などの支援を行う 6 重要な方針の決定過程に参画できる知識や能力を持てるように女性人材を養成する		経年変化
	問11	家庭生活と仕事などの両立のための環境整備 (全員にお聞きします) 男女が共に、家庭生活と、仕事など他の活動を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。(3つまで選択) 1 保育所や学童保育の整備、保育時間の延長 2 年間労働時間の短縮 3 代替要員の確保など、男女を問わず育児・介護休業制度を利用しやすくする職場環境の整備 4 周囲の人が、仕事と家庭の両立の必要性を認識し、理解と協力を示すこと 5 育児・介護休業中の賃金や手当など経済的支援の充実 6 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度の導入 7 子育てや介護などを理由に退職した職員を元の職場で再雇用する制度の導入 8 パート、アルバイトなどの労働条件の改善 9 家事を家族が協力し合って行うこと		経年変化
男女共同参画社会に向けて	問12	男女共同参画社会のイメージ (全員にお聞きします) あなたは「男女共同参画社会」と聞いたとき、どんな社会をイメージしますか。次のうちからあなたのイメージに近いものをいくつかもお選びください。(複数選択可) 1 暮らしやすい社会 2 活気がある社会 3 公正な社会 4 窮屈な社会 5 混乱した社会 6 男性の尊厳が損なわれた社会 7 女性が優遇される社会 8 全ての人が尊重される社会 9 その他	Q5	標男女共同参画社会という用語の周知度が現計画の指

山梨県調査内容 (H22)			
仕事と家庭・社会活動とそのバランス	問13	職場での男女共同参画意識 (F4で雇用者(常勤)」または「雇用者(パート、アルバイト、嘱託など)」を選んだ方にお聞きします) あなたは現在の自分の職場において、次のA～Hについてどのように感じていますか。それぞれについて1～4のうち1つを選択してください。 1 男性が優遇されていると感じる 2 平等だと感じる 3 女性が優遇されていると感じる 4 わからない A 採用 B 給与・賃金の体系(職種やコース) C 成績や能力の評価 D 昇給 E 管理職への登用 F 残業、出張、転勤の命令 G 研修の機会 H 有給休暇のとりやすさ	◇F4の設問に合わせる ◇先頭項目に「採用」を加える
	問14	行政や企業が女性の活躍を促進するための方策 (全員にお聞きします) 行政や企業はどんな方法で女性の活躍を促進するのが良いと思いますか。(複数回答可) 1 行政の審議会・委員会の委員などに女性を積極的に任命する 2 公共事業の発注に際し、女性を積極的に活用している企業を優遇する 3 女性を積極的に活用している企業を表彰する 4 女性の採用や管理職への登用などに目標を設け、女性の進出を促す計画をつくる 5 女性の起業家に対して融資などの支援を行う 6 重要な方針の決定過程に参画できる知識や能力を持てるように女性人材を養成する	
	問15	家庭生活と仕事などの両立のための環境整備 (全員にお聞きします) 男女が共に、家庭生活と、仕事など他の活動を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。(3つまで選択) 1 保育所や学童保育の整備、保育時間の延長 2 年間労働時間の短縮 3 代替要員の確保など、男女を問わず育児・介護休業制度を利用しやすくする職場環境の整備 4 周囲の人が、仕事と家庭の両立の必要性を認識し、理解と協力を示すこと 5 育児・介護休業中の賃金や手当など経済的支援の充実 6 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度の導入 7 子育てや介護などを理由に退職した職員を元の職場で再雇用する制度の導入 8 パート、アルバイトなどの労働条件の改善 9 家事を家族が協力し合って行うこと	
男女共同参画社会に向けて	問16	男女共同参画に関連する言葉の周知度 (全員にお聞きします) (1) これらの言葉のうち、A～Jそれぞれについて、1～4のうち1つに○をつけてください。 1 知っている 2 見たり・聞いたりしたことがある 3 見たり聞いたりしたことはない 4 わからない A 男女共同参画社会 B 男女共同参画社会基本法 C 女子差別撤廃条約 D ポジティブアクション(積極的改善措置) E ジェンダー(社会的差別) F 男女雇用機会均等法 G ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和) H DV(配偶者からの暴力) I 山梨県男女共同参画推進センター(びゅあ総合・びゅあ峡南・びゅあ富士) J 配偶者暴力相談支援センター	◇用語の周知度・理解度 ◇現計画の指標となっているので、測定できる質問に変更>島根を参考 ◇イメージの質問は残す
	男女共同参画社会のイメージ	(2) あなたは「男女共同参画社会」と聞いたとき、どんな社会をイメージしますか。次のうちからあなたのイメージに近いものをいくつかもお選びください。(複数選択可) 1 暮らしやすい社会 2 活気がある社会 3 公正な社会 4 窮屈な社会 5 混乱した社会 6 男性の尊厳が損なわれた社会 7 女性が優遇される社会 8 全ての人が尊重される社会 9 その他	

山梨県調査内容 (H17)		内閣府調査	備考
男女共同参画社会に向けて	問13 男女共同参画社会実現のための山梨県の施策	(全員にお聞きします) 男女共同参画社会を実現するために、山梨県が行う施策の重要度についてあなたはどのようにお考えですか。A～Mそれぞれについて、1～4のうちの1つをお選びください。 1 大変重要である 2 重要である 3 それほど重要でない 4 重要ではない A 男女共同参画について学ぶ講座の充実 B 女性が再就職するための研修等の充実 C 女性が社会活動をするための研修等の充実 D 女性の起業やコミュニティービジネス創出研修の充実 E 女性のための相談窓口の充実 F 男性が家事や地域活動を行うための研修等の充実 G 男女が互いを人として尊重する学校教育 H 国際的な男女共同参画に関する情報の提供 I 企業トップの意識改革のための研修の充実 J 行政の各種委員会、審議会への女性の登用 K 女性の活動を支援する団体と行政との協働 L 地域リーダーとなる女性を育成する研修の充実 M 男女共同参画推進のための拠点の充実	経年変化
	問14 人権についての意識	(全員にお聞きします) 普段あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じることはどのようなことですか。(複数回答可) 1 職場におけるセクシャル・ハラスメント 2 買春・売春 3 痴漢行為 4 家庭内での夫から妻への身体的暴力(酒に酔ってなぐるなど) 5 女性に対するストーカー(つきまとい)行為 6 家庭内での夫から妻への精神的暴力(暴言、無視、監視など) 7 女性の働く風俗営業 8 女性のヌード写真を掲載した雑誌 9 女性の体の一部や媚びたポーズ・視線を、内容に関係なく使用した広告 10 「令夫人」「〇〇女子」「未亡人」など、女性だけに使われる言葉 11 女性の容貌を競うコンテスト等 12 その他 13 特になし	経年変化
人権について	問15 女性の人権についての認識率	(全員にお聞きします) 「配偶者をたたいても、それがしつけや教育のためならばやむを得ないことである」という考え方については、あなたはどのように思いますか。 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない	
	問16 暴力に対する認識〔全員〕	(全員にお聞きします) あなたは、夫婦の間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いませんか。A～Jのそれぞれについて、1～3のうちあなたの考えに近い番号1つをお選びください。 1 どんな場合でも、暴力に当たると思う 2 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う 3 暴力に当たると思わない A 骨折、打ち身、切傷などのケガをさせる B ケガをしない程度になぐる、蹴る、平手で打ち C なぐるふりをして、脅す D ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして、脅す E いやがっているのに性的な行為を強要する F 避妊に協力しない G 何を言っても長期間無視し続ける H 交友関係や電話を細かく監視する I 大声で怒鳴る、罵る	DV調査問3 現計画の指標

山梨県調査内容 (H22)			
男女共同参画社会実現のための山梨県の施策	問17 男女共同参画社会実現のための山梨県の施策	(全員にお聞きします) 男女共同参画社会を実現するために、山梨県が行う施策の重要度についてあなたはどのようにお考えですか。A～Nそれぞれについて、1～4のうちの1つをお選びください。 1 大変重要である 2 重要である 3 それほど重要でない 4 重要ではない A 男女共同参画について学ぶ講座の充実 B 女性が再就職するための研修等の充実 C 女性が社会活動をするための研修等の充実 D 女性の起業やコミュニティービジネス創出研修の充実 E 女性のための相談窓口の充実 F 男性が家事や地域活動を行うための研修等の充実 G 男女が互いを人として尊重する学校教育 H 国際的な男女共同参画に関する情報の提供 I 企業トップの意識改革のための研修の充実 J 行政の各種委員会、審議会への女性の登用 K 女性の活動を支援する団体と行政との協働 L 地域リーダーとなる女性を育成する研修の充実 M 男女共同参画推進のための拠点の充実	
	問18 人権についての意識	(全員にお聞きします) 普段あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じることはどのようなことですか。(複数回答可) 1 職場におけるセクシャル・ハラスメント 2 買春・売春 3 痴漢行為 4 家庭内での夫から妻への身体的暴力(酒に酔ってなぐるなど) 5 女性に対するストーカー(つきまとい)行為 6 家庭内での夫から妻への精神的暴力(暴言、無視、監視など) 7 女性の働く風俗営業 8 女性のヌード写真を掲載した雑誌 9 女性の体の一部や媚びたポーズ・視線を、内容に関係なく使用した広告 10 「令夫人」「〇〇女子」「未亡人」など、女性だけに使われる言葉 11 女性の容貌を競うコンテスト等 12 その他 13 特になし	
DVについて	問19 暴力に対する認識	(全員にお聞きします) あなたは、夫婦の間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いませんか。A～Jのそれぞれについて、1～3のうちあなたの考えに近い番号1つをお選びください。 1 どんな場合でも、暴力に当たると思う 2 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う 3 暴力に当たると思わない A 骨折、打ち身、切傷などのケガをさせる B ケガをしない程度になぐる、蹴る、平手打ち C なぐるふりをして、脅す D ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして、脅す E いやがっているのに性的な行為を強要する F 避妊に協力しない G 何を言っても長期間無視し続ける H 交友関係や電話を細かく監視する I 大声で怒鳴る、罵る	◇Bの項目は、現計画の指標となっている

山梨県調査内容 (H17)			内閣府調査	備考
問17	配偶者への加害態様	(F5で「1既婚」または「2既婚(死別・離別)」と答えた方にお聞きします) あなたはこれまでに、あなたの配偶者に対して次のような行為をしたことがありますか。A～Jのそれぞれについて、1～3のうちあなたの考えに近い番号1つをお選びください。 1 まったくない 2 1、2度あった 3 何度もあった A 骨折、打ち身、切傷などのケガをさせる B ケガをしない程度になぐる、蹴る、平手で打ち C なぐるふりをして、脅す D ドアを蹴ったり、壁に物を投げつけたりして、脅す E いやがっているのに性的な行為を強要する F 避妊に協力しない G 何を言っても長期間無視し続ける H 交友関係や電話を細かく監視する I 大声で怒鳴る、罵る		
問18	配偶者への加害理由	問17のA～Jのうち、1つでも「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお聞きします。すべて「まったくない」と答えた方は、問19へお進みください。 (1) あなたが問17であげたような行為をするに至ったきっかけは何ですか。(複数回答可) ア 仕事などでストレスがたまっていた イ 相手が間違っことをしたので、正そうとした ウ 相手が話を聞こうとしないので、行動でわからせようとした エ 家族の間では普通のことである オ 相手が自分に対して危害を加えてきたので、身を守ろうと思った カ 急に力になってしまった キ 酒を飲んでいて ク その他→() ケ 覚えていない コ 得に理由はない		
	配偶者への加害に対する反省	(2) あなたは、問17であげたような行為をしたことについて、どのように考えていますか。ア～オのうちあなたの考えに近い記号をお選びください。(選択は一つ) ア 自分が悪かったと思い、その後は同じことをしていない イ 自分が悪かったと思い、二度とやらないようにしたいという気持ちはあるが、その後も同じことをしてしまう ウ 自分が悪かったとは思っていない エ 特認何も考えていない オ その他→()		
問19	被害経験	(F5で「1既婚(現在配偶者がいる)」または「2既婚(死別・離別)」と答えた方にお聞きします) あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことを<これまで><この1年間>されたことがありますか。AからDについて、1～3のうち1つをお選びください。 1 まったくない 2 1、2度あった 3 何度もあった A なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた B あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動を受けた C 人格を否定されるようなひどい暴言を受けた D いやがっているのに性的な行為を強要された	DV調査問5	経年変化
問20	被害経験	(問19のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお聞きします) あなたはこれまでに、その相手の行為によって、命の危険を感じたことがありますか。 1 感じた 2 感じなかった	DV調査問11	経年変化

DVについて

山梨県調査内容 (H22)				
問20	被害経験	(F5で「1結婚している(事実婚を含む) 2離別 3死別」と答えた人を対象)と答えた方に、お聞きします) あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことを<これまで><この1年間>されたことがありますか。AからDについて、1～3のうち1つをお選びください。 1 まったくない 2 1、2度あった 3 何度もあった A なぐったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた B あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような言動を受けた C 人格を否定されるようなひどい暴言を受けた D いやがっているのに性的な行為を強要された		
問21	被害経験	問20のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお聞きします すべて「(1)まったくない」と答えた方は、問26へお進みください。あなたはこれまでに、その相手の行為によって、命の危険を感じたことがありますか。 1 感じた 2 感じなかった		

山梨県調査内容 (H17)			内閣府調査	備考
DVについて	問21	被害経験 (問19のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお聞きします) あなたはこれまでに、その相手の行為によって、ケガをしたり、医師の治療を受けたりましたか。(複数回答可) 1 ケガをして医師の治療を受けた 2 ケガをして医師の治療が必要となる程度だったが、治療は受けなかった 3 ケガをしたが、医師の治療が必要とされない程度だった 4 ケガはしなかった	DV調査問13	経年変化
	問22	被害経験(子どもの目撃等) (問19のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何度もあった」と回答した方にお聞きします) あなたが、その相手からの行為を受けた時に、あなたのお子さん(18歳未満)はそれを目撃していましたか。 1 目撃していた 2 目撃していない 3 目撃していたか、いないかはわからない 4 子どもはいない		経年変化
	問23	被害経験(子どもへの暴力) 問19のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何どもあった」と回答した方にお聞きします。 その相手は、あなたのお子さんに対して、同じような行為をしたことがありますか。 1 あった 2 なかった 3 わからない 4 子どもはいない		経年変化
	問24	相談状況 (問19のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何どもあった」と回答した方にお聞きします。) あなたはこれまでに、あなたの配偶者からうけた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(複数回答可) 1 友人・知人に相談した 2 家族や親戚に相談した 3 警察に連絡・相談した 4 医師に相談した 5 裁判所に相談した 6 女性相談所、福祉事務所に相談した 7 女性センター、男女共同参画センターなどに相談した 8 民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)に相談した 9 法務局、人権擁護委員に相談した 10 市役所、町村役場に相談した 11 その他 12 どこ(だれ)にも相談しなかった	DV調査問6	経年変化
	問25	相談状況 (問25で「12 どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします) どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(複数回答可) 1 どこへ相談していいかわからなかったから 2 相談するほどのことではないと思った 3 相談してもむだだと思った 4 自分にも悪いところがあると思った 5 恥ずかしくてだれにも言えなかった 6 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思った 7 親や他人を巻き込みたくなかった 8 そのことについて思い出さなくなかった 9 世間体が悪い 10 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、問題がこじれると思った 11 相談相手の言動で不快な思いをと思った 12 その他	DV調査問7	経年変化

山梨県調査内容 (H22)				
問22	被害経験 (問20のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何どもあった」と回答した方にお聞きします) あなたはこれまでに、その相手の行為によって、ケガをしたり、医師の治療を受けたりしましたか。(複数回答可) 1 ケガをして医師の治療を受けた 2 ケガをして医師の治療が必要となる程度だったが、治療は受けなかった 3 ケガをしたが、医師の治療が必要とされない程度だった 4 ケガはしなかった			
問23	被害経験(子どもの目撃等) (問20のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何どもあった」と回答した方にお聞きします) あなたが、その相手からの行為を受けた時に、あなたのお子さん(18歳未満)はそれを目撃しましたか。 1 目撃していた 2 目撃していない 3 目撃していたか、いないかはわからない 4 子どもはいない			
問24	被害経験(子どもへの暴力) (問20のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何どもあった」と回答した方にお聞きします) その相手は、あなたのお子さんに対して、同じような行為をしたことがありますか。 1 あった 2 なかった 3 わからない 4 子どもはいない			
問25	相談状況 (問20のA～Dのうち、1つでも「1、2度あった」「何どもあった」と回答した方にお聞きします) あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(複数回答可) 1 友人・知人に相談した 2 家族や親戚に相談した 3 警察に連絡・相談した 4 医師に相談した 5 裁判所に相談した 6 女性相談所に相談した 7 県保健福祉事務所、地域県民センターに相談した 8 男女共同参画センターに相談した 9 市町村(福祉事務所・女性センター等)に相談した 10 民間の機関(弁護士会、民間シェルター、法テラスなど)に相談した 11 法務局、人権擁護委員に相談した 12 その他 13 どこ(だれ)にも相談しなかった			
問26	相談状況 (問25で「12 どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします) どこ(誰)にも相談しなかったのは、なぜですか。(複数回答可) 1 どこへ相談していいかわからなかったから 2 相談するほどのことではないと思ったから 3 相談しても無駄だと思ったから 4 自分にも悪いところがあると思ったから 5 恥ずかしくて誰にも言えなかったから 6 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから 7 親や他人を巻き込みたくなかったから 8 そのことについて思い出さなくなかったから 9 世間体が悪いから 10 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、問題がこじれると思ったから 11 相談相手の言動で不快な思いをと思ったから 12 その他()			

山梨県調査内容 (H17)			内閣府 調査	備考
自由記述	問26 自由記載	男性も女性も、個性と能力を発揮していきいきと暮らしていく社会の実現のために、あなたが日頃考えていらっしゃる事があれば、自由にお書きください。		経年変化

山梨県調査内容 (H22)			
	問27 自由記載	男性も女性も、個性と能力を発揮していきいきと暮らしていく社会の実現のために、あなたが日頃考えていらっしゃる事があれば、自由にお書きください。	